

【親子】浅間スキー

- 開催日 2018年12月28日～12月30日
- 会場 アサマ2000パーク（長野県小諸市）
- ディレクター名 小澤 潤平（アポロ）

■キャンプのねらい

●親子でお泊り&スキーにチャレンジし、楽しむ中で親子間や家族間のふれあいを図る。

●スキーの上達を通して、「できた!」という達成感や充足感を味わう。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

がんさん、ロバさん、ひめちゃん、マッスル、たいこー

■活動内容

<1日目>
集合、ホテル到着
親子別のレッスン
夜の雪遊び

<2日目>
親子別のレッスン（午前、午後）
レクリエーションタイム

<3日目>
親子でのスキー
ホテル出発、解散



バスの中ではレクリエーションやクイズ大会で盛り上がりました。



まだ緊張していますが、徐々に会話も増えて楽しい昼食タイム。



はじめてのスキーに挑戦。弱音を吐かずがんばりました。



大人と子ども別の班でのレッスン。リフトで再会!「僕滑れるよー!」



夜は「雪遊び」。スキーウェアを着てゲレンデに。とっても寒い!



恒例となったタオルソード!濡れたタオルがカチカチに凍ります。



みんなで朝ごはん。おいしいご飯を食べてこの後はスキーレッスン!



親子チームもスキーレッスンをしてレベルアップを目指します。



スピードを出して滑る練習やパラレルターンの練習をしました。



夕食までの間に、焼き芋タイム。とっても甘くておいしい！



レクリエーションではチーム対抗戦。とても白熱しました。



子ども達からのダンス出し物。今年は流行した「USA」です。



3日目は親子でスキー！みんなでそろっていきまーす！



中級斜面にチャレンジする親子も！晴天の中気持ちよく滑りました。



リフトも親子一緒に乗ります。合計20本乗った親子もいました。



あるファミリーは、お母さんからのレッスン。さらにレベルアップ！



はじめてスキーをした子ども、上手に滑れるようになりました。



仲良くなったみんなで最後の昼食。またみんなでスキーしようね！

■キャンプのエピソード

「リフト何本乗りたい？」

今回子ども達チームは、はじめてのチーム、去年からスキーを始めたチーム、経験者チームの3チームでレッスン。レッスン内容も滑るグレンデ、滑走量もそれぞれです。レッスンが進んでいくと、できることが増えてきて、リフトにどんどん乗りたくなります。子ども達に「リフト何本乗りたい？」と話を聞くと、「たくさん！」と話すので、その分たくさんグレンデを滑ることができます。

最終日、親子でスキーを滑りましたが、途中子どもに「どのくらいリフト乗ったの？」と聞くと、「今10本乗ったから、あと10本乗って20本乗る」と目標を立てている子がいました。お父さんも一緒になってその分たくさん滑っていたので大変だったと思いますが、とても素晴らしい時間を過ごせたと思います。スキーも上達もできるので、一石二鳥の親子スキーでした。

充実のアフタースキー

今年はアフタースキーも充実していました。それは、リピーターの方々には念願だった、ロバさんの「コーヒー焙煎」と「つぼ焼き芋」です。例年夜の懇親会のタイミングで話が出ていましたが、タイミングが合わず実現していなかったのが、「今年こそはやりたい！」ということで、その願いが叶いました。

スキー後の夕食までの間や、その他のプログラムの中で時間があります。通常その時にはフリータイムになりますが、「コーヒー焙煎」のおかげもあり、いつも以上にファミリーで集まり交流ができました。また、つぼ焼き芋は2日目のお腹が空いている夕食の前に振舞われました。とても甘くてやわらかくて蜜がたっぷりの焼き芋に舌鼓。食べたファミリーのアンコールに応じて、レクリエーションタイムのあとにも再びつぼ焼き芋タイムがあり、みんな大満足のアフタースキーとなったようです。